准看護師科

科目名称	看護と法律	学年学期	単位数	時間数
		2学年後期		17
担当教員	南澤　祐子	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

社会生活には法が深く根差している。
保健医療福祉分野においては、近年、急激な　高齢化や技術の進歩により関連法規の整備が目まぐるしく行われている。
本科目では、人権を守り、対象のQOL向上のための社会資源を提供するため、および、多職種協働においても資格に応じた安全で円滑なサービスを提供するために必要な基礎的知識として活用できることを目的として関係法規の概要を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 看護職の資格・業務・役割などについて保健師助産師看護師法による法的視点から理解できる。
2. 権利擁護および QOL 向上のための看護実践に活用できるよう、保健・医療・福祉関係法規の概要を理解する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
■ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
□ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
■ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護業務に関する法の知識	講義
2	保健師助産師看護師法	講義
3	保健医療提供体制に関連する法規	講義
4	保健医療提供体制に関連する法規	講義
5	保健衛生関連法規	講義
6	医薬品・医療機器等及び環境に関する法規	講義
7	社会保険・福祉等に関する法規	講義
8	社会保険・福祉等に関する法規	講義
9	筆記試験（45 分間）	

【5】 評価方法

1. 筆記試験

【6】 教科書

山本　光昭著 「看護学入門5　看護と法律」 メヂカルフレンド社　2021年

【7】 参考書

看護六法 看護行政研究会編　新日本法規出
国民衛生の動向　2021/2022　一般財団法人厚生労働統計協会

【8】 受講生へのメッセージ